遊水地整備&利活用 事例集



令和5年3月 国土交通省 水管理·国土保全局 治水課

本事例集の作成趣旨

近年、激甚な水害が毎年のように全国各地で頻発しており、さらに今後、気候変動による降雨量の増大による水害の頻発化・激甚化が予想されています。

異常気象が新しい日常となりつつある中、河川管理者による治水対策は、上下流バランスを踏まえ整備を進める必要があり、中上流域において早期に効果を発現する対策としては、遊水地のように雨水や洪水を貯留する整備も重要となります。

この遊水地の事例集は、「流域治水」の本格的な実践に向けて、遊水地を整備する際に活用されるよう、事業の概要・支援制度・遊水地内の上面利活用の事例等を分かりやすく簡潔にまとめたものであり、地域の特性に応じた遊水地整備につながることを期待するものです。

今後、遊水地整備や遊水地内の上面利活用を検討される際に、役立つものとなれば幸いです。

「流域治水」の施策イメージ



目 次

Ι	遊水地とは	 3
Π	遊水地事業への支援制度	 7
Ш	耕作者への支援制度(農林水産省)	 9
IV	遊水地上面利活用の事例	 12

I 遊水地とは

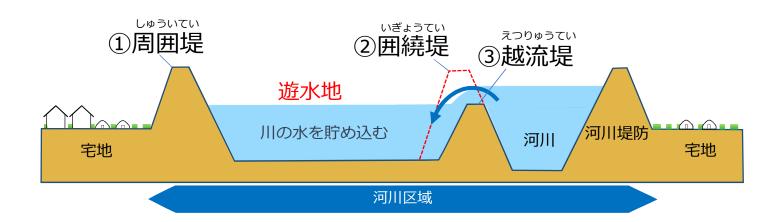
遊水地の概要

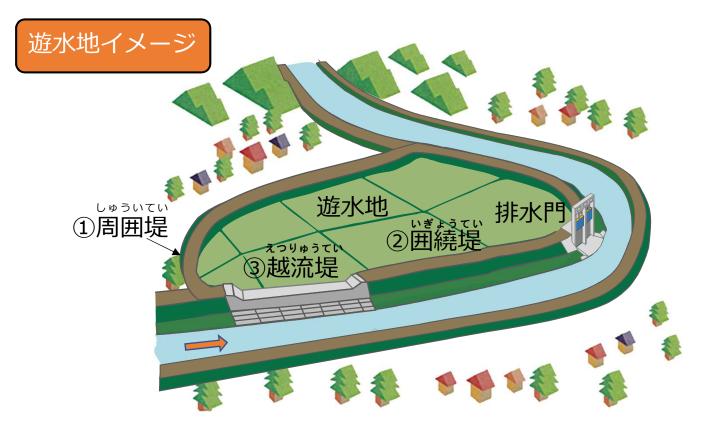
遊水地は、洪水で川の水が増えた際、その水を一時的に貯め込み川の水位を下げる機能を持っています。

遊水地のしくみ

①周囲堤:遊水地の周囲を囲む堤防 ②囲繞堤:遊水地と河川の境界の堤防

③越流堤:②のうち河川の水を遊水地に流す区間





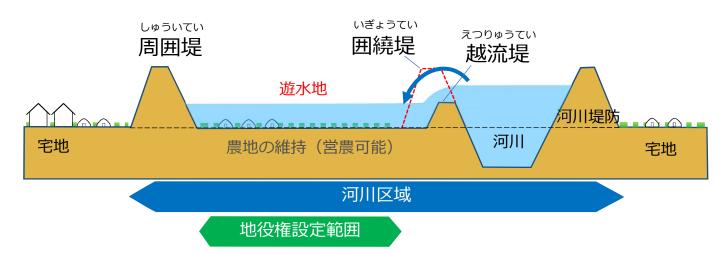
I 遊水地とは

遊水地の種類と整備の方法

遊水地の事業用地の整備方法は、大きく分けて2つの方法があります。

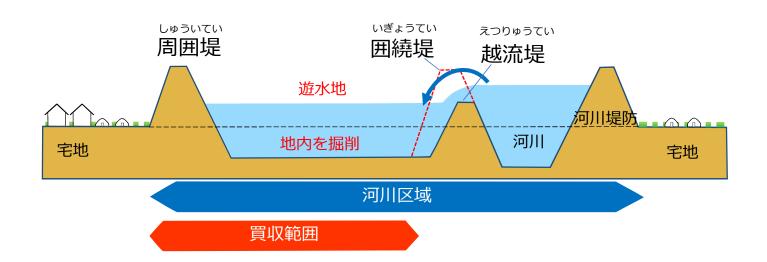
地役権補償方式

- 地役権補償方式とは、土地所有者が現在の土地利用を行いながら、さらに、河川管理者が 必要な補償を実施したうえで、遊水地として使用する権利を設定する方法です。
- 地役権が設定されると、盛土などの行為が制限されます。



全面買収方式

- 全面買収方式とは、用地を買収し、現地盤を掘り下げて容量を確保する方法です。
- 地役権補償方式に比べ、必要となる面積が少なくなります。



I 遊水地とは

地役権補償方式の概要

■地役権補償方式

- ・「地役権」は、土地の所有者が現在の土地利用を行いながら、さらに、河川管理者が遊水地 として使用することができます。
- ・遊水地として整備した後も土地の利用はできますが、その利用を制限するような掘削などの 大きな土地の改変によって遊水地の洪水調節容量の確保ができないので、広い用地面積が必 要となる場合があります。
- ・地役権設定された後も、普段は農地などとして利用できます。
- ・地役権設定の際に、河川管理者が対価を補償し、その後の**維持管理は地権者の負担**となります。
- ・地役権が設定されても土地の売買や賃貸などは行うことができますが、土地取得者にも地役 権に伴う制限(盛土や家屋・ビニールハウスなどの築造行為の制限)が引き継がれます。
- ・農業共済や収入保険に加入いただいている農業者については、水害等による収量、収入の減少による損失への補填の対象となります。



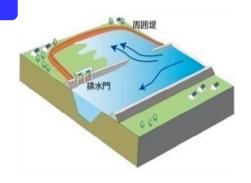
地役権補償方式の遊水地 (淀川水系木津川 上野遊水地)

Ⅱ 遊水地事業への支援制度

洪水氾濫を未然に防ぐ対策[河道改修(遊水地)]

遊水地を建設する際に利用できる支援制度

地方公共団体が遊水地を整備するにあたって以下の支援制度を利用することが可能です。



概要

〇事業間連携河川事業、大規模特定河川事業

事業効果の早期発現や最大化を図るとともに、特に優先度の高い都道府県の大規模事業等を計画的・集中的に推進します。

〇特定都市河川浸水被害対策推進事業

特定都市河川流域で河川の整備、雨水貯留浸透施設の整備、土地利用規制と併せた二線堤の築造等を計画的・集中的に実施することで、早期に治水安全度を向上させ浸水被害を軽減します。

O広域河川改修事業

水系、大支川等を単位として、水系一貫とした計画的な整備を図るとともに、規模の大きい事業に限定し、また重点整備箇所を設けて整備を実施します。

O総合流域防災事業

流域単位を原則として、包括的に水害・土砂災害対策の施設整備等及び災害関連情報の提供等のソフト対策を実施します。

負担率・補助率

〇事業間連携河川事業、大規模特定河川事業

- 一級河川 1/2 、1/3* (北海道 2/3、1/3*) 二級河川 1/2 、1/3* (北海道 5.5/10、1/3* 沖縄 9/10、1/3* 離島1/2、6/10、1/3*) 準用河川 1/3
- ※:補助率1/3事業は次の事業をいう(準用河川を除く)
 - ・河川法(昭和39年法律第167号)第16の3に基づき河川管理者との協議により市又は特別区が事業主体となって改良工事を実施する事業
- ・流域における保水・遊水機能を計画的に確保するため貯留浸透施設の設置を実施する事業

〇特定都市河川浸水被害対策推進事業

- •河川改修
 - 一級河川1/2(大規模5.5/10、北海道2/3)
 - 二級河川1/2(北海道5.5/10、沖縄9/10、離島1/2、 奄美6/10)
- · 雨水貯留浸透施設等
 - 一級河川1/2
 - 二級河川1/2

O広域河川改修事業

- 一級河川 1/2(大規模 5.5/10、北海道 2/3)
- 二級河川 1/2(北海道 5.5/10、沖縄 9/10、離島1/2、
- 奄美6/10)

O総合流域防災事業

- 河川事業
- 一級河川1/2(北海道2/3)
- 二級河川1/2(北海道5.5/10、離島1/2、奄美6/10)
- 準用河川1/3

Ⅱ 遊水地事業への支援制度

遊水地の上面利用【全面買収方式】

遊水地の上面利用で都市公園を整備する際に利用できる支援制度

地方公共団体が都市公園を整備するにあたって以下の支援制度を利用することが可能です。

概要

O都市公園事業

安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな国民生活の実現を図るため、都市公園の整備を推進します。

(面積要件)

2 ha以上の公園であること。

ただし、三大都市圏の既成市街地等に位置する都市等における防災公園は1ha以上。

(総事業費要件)

全体事業費が1箇所当たり2.5億円以上の事業(ただし、都道府県事業は5億円以上)であること。

負担率・補助率

〇都市公園事業 (交付対象)

(都市公園の用地) (公園施設) 1/3 (1/2^{※1}) 1/2^{※2}

- ※1()は、沖縄振興特別措置法に基づくもの
- ※2 事業主体が歴史的風致維持向上支援法人の場合、地方公共団体が歴史的風致維持向 上支援法人の補助に要する費用の1/2以内で、かつ当該緑地の整備に要する全体事 業費の1/3以内

遊水地の上面利用でビオトープ等を整備する際に利用できる支援制度

地方公共団体がビオトープ等を整備するにあたって以下の支援制度を利用することが可能です。

概要

〇都市水環境整備事業(統合河川環境整備事業)

河川の自然環境の再生、河川環境教育の場として又は地域のまちづくりに係る取組みと一体となって治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を推進します。

(要件)

- ・従来の自然環境が著しく阻害されている河川の特に必要とする区域において自然環境の保全・復元を行う事業
- ・河川環境教育の場として利用される「水辺の楽校プロジェクト」、地域の取組みと一体となった「かわまちづくり 支援制度」に位置づけられた治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行う事業

負担率・補助率

〇都市水環境整備事業(統合河川環境整備事業)

1/3 等

Ⅱ 遊水地事業への支援制度

災害復旧事業による支援制度

遊水地で洪水貯留を行ったのち、土砂等*が遊水地内に堆積し、洪水調節機能や施設機能に影響を及ぼす場合には、早期に機能を復旧させるため、災害復旧事業として堆積土砂等の撤去が支援の対象となります。

※土砂等:土砂、流木、塵芥

背景・課題

- ○洪水貯留後に遊水地内に土砂堆積等が発生した場合、施設管理者が自ら土砂等を撤去する ことになります。
- ○堆積土砂の撤去に時間を要する場合は、次期洪水に対して洪水調節機能の低下が懸念されています。
- ○河川維持管理予算や、施設管理者による費用負担には限界があり、迅速な土砂撤去が困難 であることから、激甚化・頻発化する洪水に対応できないおそれもあります。







【遊水地への湛水状況】



【遊水地内の堆積事例】

制度内容

○遊水地における洪水貯留後に堆積した土砂等の撤去を、災害復旧で実施可能となります。

对象:河川管理者(国、都道府県等)

内容: 土砂等の堆積により遊水地の洪水調節や 施設(水門や排水路等)の機能を阻害す

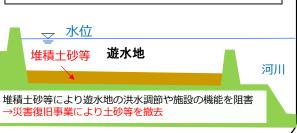
る場合に、当該土砂等の撤去を災害復旧

事業で一貫して撤去が可能。



採択要件

- ①土砂については 1,000m3 以上、流木については 500m3 以上の いずれかの堆積が生じた場合。なお、堆積量の全量を除去対象とし、いずれの場合も塵芥を含むものとする。
- ②遊水地に係る河川管理施設等の機能に支障を及 ぼす場合。なお、土砂等が 前述 ①の数量以下 でも、必要に応じて堆積量の全量を除去の対象 とする。



Ⅲ 耕作者への支援制度(農林水産省)

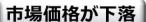
農業者のみなさん! リスクへの備えはできていますか?



農業経営には様々なリスクがあるんだよね…

自然災害で減収







災害で作付不能



病気で収穫不能



倉庫の浸水被害



取引先の倒産



盗難や運搬中の事故



為替変動で大損



農業保険がサポートします!!



機々な リスク をカバー したい方

収入保険をおすすめします!

- ・青色申告を行っている農業者が対象です。
- ・原則全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、 農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

自然災害 リスク をカバー したい方

農業共済をおすすめします!

- 全ての農業者が対象です。
- ・米、麦、畑作物、果樹、家畜、農業用ハウスなどが自然災害 によって受ける損失を補償します。

※収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)、野菜価格安定制度等を利用することもできます。

農業保険は国の公的保険制度で、保険料(掛金)の国庫補助があります。

詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。

農業保険

検索

農林水産省

Webサイトでは様々な情報を公開中! http://www.maff.go.ip/i/keiei/nogvohoken/

Ⅲ 耕作者への支援制度(農林水産省)

農地・農業用施設が被災した場合に(営農者用)

- 農地・農業用施設が被災した場合には、国の補助の対象となる災害復旧事業で行える。 場合があります。
- ただし、小さな被害(40万円未満)の場合には、国からの補助の対象となりません。
- 〇 災害復旧事業の中の査定前着工制度を活用することにより、早期復旧が行えます。

農地や農道、水路などの農業用施設が自らの手に負えないほど被災 した場合には、必ず市町村に一報し、担当職員と相談して下さい。

(注意) 市町村に相談せず被害の写真等がないまま復旧を実施した場合には、国からの 補助の対象とならない可能性もあります。

復 IB

1. 農地



豪雨による河川増水で被災した農地



査定前着工により復旧した農地

2. 水路



土砂が堆積した水路

市町村と相談 早期復旧

早期復旧



査定前着工により復旧した水路

Ⅲ 耕作者への支援制度(農林水産省)

多面的機能支払交付金を活用した災害復旧への支援

【支援対象】

- 〇対象組織が活動計画書に位置付けている「保全管理する区域内の農用地、水路、農道、ため池」。 【支援内容】
- 〇農地維持活動による「堆積した土砂・流木等の撤去などの応急措置が可能」。
- 〇甚大な自然災害の場合には、被災した施設の「<mark>小規模な被災箇所の補修や復旧等に、交付金を重点的に活用することが可能</mark>」。この場合、計画していた今後の活動ができず活動要件を満たすことが困難となっても、地方農政局長等から特例措置の承認を受けることで、交付金の返還を免除。
- 〇また、災害対応に十分な資金が無い場合は「別の対象組織から交付金の融通を受けることが可能」。
- ※ただし、災害復旧にかかる予算の追加配分はない(面積当たり交付単価による定額補助の範囲内)。





IV 遊水地上面利活用の事例(全面買収方式)

全面買収方式で遊水地を整備した場合、遊水地内の土地を有効に活用することが重要であることから、遊水地内の土地利用の事例を整理しました。

施工地	水系名	河川名	施設名	上面利活用	頁
北海道	石狩川	石狩川	砂川遊水地【直轄】	公園	1 3
北海道	石狩川	千歳川	舞鶴遊水地【直轄】	湿地	1 4
福島県	阿武隈川	阿武隈川	浜尾遊水地【直轄】	自然環境保護	1 5
埼玉県	荒川	荒川	荒川第一調節池【直轄】	公園、グラウンド	1 6
茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県	利根川	利根川	渡良瀬遊水地【直轄】	運動公園・ゴルフ場	1 7
神奈川県	鶴見川	鶴見川	鶴見川多目的遊水地【直轄】	公園、運動場、競技場	18
岐阜県	木曽川	長良川	犀川遊水地【直轄】	公園	1 9
愛知県	庄内川	庄内川	小田井遊水地【直轄】	公園	2 0
鳥取県	千代川	袋川	浜坂遊水池【直轄】	公園	2 1
北海道	松倉川	鮫川	鮫川遊水地	親水広場	2 2
青森県	沖館川	沖館川	沖館川多目的遊水地	小中学校、運転免許センター	2 3
福島県	藤原川	湯本川	湯本川調節池	多目的広場、ビオトープ	2 4
茨城県	那珂川	中丸川	中丸川調節池	公園、レクレーション	2 5
埼玉県	利根川	綾瀬川	大門(上)調節池	イベント広場	2 6
埼玉県	利根川	青毛堀川	花崎多目的遊水地	公園	2 7
東京都	目黒川	目黒川	荏原調節池	都営住宅	2 8
東京都	荒川	妙正寺川	妙正寺川第一調節池	公園、住宅	2 9
東京都	多摩川	野川	野川第一・第二調節池	自然再生事業の対象地区	3 0
神奈川県	境川	境川	境川遊水地	公園	3 1
長野県	信濃川	大門沢川	新池	陸上競技練習場	3 2
新潟県	阿賀野川	新井郷川	福島潟	公園、自然生態学習園	3 3
静岡県	巴川	巴川	麻機遊水地	公園、農業体験	3 4
大阪府	淀川	恩智川	花園多目的遊水地	公園	3 5
大阪府	淀川	寝屋川	寝屋川治水緑地	公園	3 6
大阪府	寝屋川	打上川	打上川治水緑地	公園	3 7
奈良県	大和川	曽我川	曽我川治水緑地	公園	3 8
高知県	仁淀川	日下川	岡花調整池	ビオトープ	3 9
熊本県	坪井川	坪井川	坪井川遊水地	公園	4 0
宮崎県	大淀川	山内川	山内川調節池	多目的広場	4 1

石狩川水系石狩川 砂川遊水地 北海道

国土交通省 **滝川河川事務所**

【砂川游水地の概要】

- ・砂川遊水地は旧石狩川に整備した地形特徴より、水辺のレクリエーションエリア「砂川 オアシスパーク」として水面広場、多目的広場等を整備しており、ウォーターレジャーも楽 しめる憩いの空間となっている。
- ・水面広場は、夏はカヌーやヨット、冬はワカサギ釣りで利用されているとともに、管理棟 は河川啓蒙等に関する展示やイベント会場として利用されている。
- ・砂川市街部に隣接しており、「道央自動車道砂川SAスマートIC」も近傍にあることから、 市内外から利用されている。

【河川名】

石狩川水系石狩川

【所在地】

北海道砂川市

【平時利用】

占用者(砂川市)が公園として利用

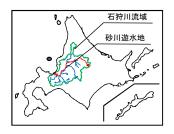
【活用事例(占用)】

公園、川の学習施設 等

【活用頻度・利用者数】

遊水地管理棟利用者数・・・年間約2万人(H22~R3年平均(イベント利用含む))

■施設に関する問合せ 国土交通省滝川河川事務所 TEL 0125-76-2211 (代)



■施設概要

平成7年度 (完成年度) 約180ha (面積) (貯留容量) 約1,050万m3 (平時利用) 都市公園

■HP

https://www.hkd.mlit.go.jp /sp/takikawa kasen/kluhh 40000075ez.html

■現況写真

管理棟 水面広場 写真78 写真①②

船着場

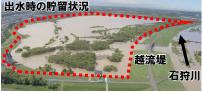
■游水地のしくみ











調節池面積(ha) 貯水容量(万m3) 約180 約1050

■活用状況の写真



写真① 水上体験学習













- 「都市・地域再生等利用区域※」に指定されており、制度を活かしたイベントを開催している。
- ・遊水地内の多目的広場は公園施設として砂川市が占用しているため、塵芥収集、ゴミ処理等の日常管 理は砂川市が実施しており、地域イベントの場として活用されている。
- ※都市・地域再生等利用区域とは、地域の合意の上で地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用が可能(民間事業者によるイベントやオープンカフェ、 キャンプ等の営利活動も可能)になる制度

石狩川水系千歳川 舞鶴遊水地 北海道

国土交通省 千歳川河川事務所

【舞鶴遊水地の概要】

- 舞鶴遊水地は千歳川の治水対策として整備された遊水地群の1つである。
- ・環境学習の場や、グリーンツーリズムなどの場として活用されている。
- ・「タンチョウも住めるまちづくり」を掲げる長沼町は、舞鶴遊水地を核としてタンチョウをシンボルとした地域活性化、環境保全の取組を行っている。
- ・貴重なタンチョウ繁殖地として鳥獣保護を図るため、令和2年10月から鳥獣保護区 に指定されている。

【河川名】

石狩川水系千歳川

【所在地】

北海道夕張郡長沼町

【平時利用】

湿地(グリーンインフラ)として保全

【活用事例(占用)】

研究フィールド、環境学習、観光 等

【活用頻度·利用者数】

鳥の駅マオイト―利用者数・・・年間約500人(H30~R3年平均値)

■施設に関する問合せ 国土交通省千歳川河川事務所 TEL 0123-24-1114(代)

■「タンチョウも住めるまちづくり」 及び「鳥の駅マオイトー」に関する問合せ 長沼町政策推進課企画政策係 TEL 0123-76-8015

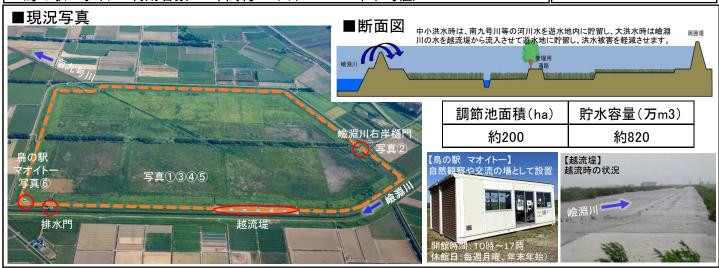


■施設概要

(完成年度) 平成26年度 (面積) 約200ha (貯留容量) 約820万m3 (平時利用) 湿地(グリーンインフラ)

■HP

https://www.maoinet.jp/shokai/machizukuri /tancho/#



■活用状況の写真













写真⑦ 地域活性化を目的としたモチーフ商品

■維持管理・地域振興の工夫

- ・舞鶴遊水地を軸とした「タンチョウも住めるまちづくり協議会」を長沼町と札幌開発建設部が設立し、タンチョウの 生育環境作りや地域振興に取り組んでいる。
- ・タンチョウの生息環境整備の結果、本地域では100年以上ぶりにタンチョウのヒナが誕生した。

福島県 阿武隈川水系阿武隈川 浜尾遊水地

国土交通省 福島河川国道事務所

【浜尾遊水地の概要】

・浜尾遊水地は、平成10年8月洪水を契機とした「平成の大改修」の治水対策の -環として、須賀川市浜尾地区に整備され、平成10年洪水と同規模の洪水に 対する被害軽減効果を目的とし一次掘削を平成16年度に概成した。

しかし、平成23年9月に発生した洪水により須賀川地区から郡山地区にかけて 計画高水位を超過したことから、計画規模の洪水に対応するため、平成25年度 から二次掘削を実施し、平成30年度に完成。

・地内の利用状況は「ラジコン」と「マレットゴルフ」が占用申請にて利用。

阿武隈川水系阿武隈川

【所在地】

須賀川市大字浜尾 地内

【平時利用】

自然環境保護

【活用事例(占用)】

ラジコン・マレットゴルフ・花火打ち上げ会場など

【活用頻度:利用者数】

年20回程度

■施設に関する問合せ 国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課 024-546-4331 郡山出張所 024-943-6591

浜尾遊水地



■施設概要

(完成年度) 平成30年度 約75ha (面積) (貯留容量) 約230万m3 (湛水頻度) 1/10 (平時利用) 自然環境保護

HP

https://www.thr.mlit.go.jp/ fukushima/hamao/index.ht

■現況写真













浜尾遊水地イメージ

遊水地機能

遊水地に水を溜め一 阿武隈川の水位を下げる

·湛水面積 :約62ha ·遊水地容量:約230万m3

貯水効果

令和元年(台風19号)においては HWLを越える貯留効果を発揮、東京 ドーム約2杯分の量(約260万m3)を 貯留し須賀川地点では約30cmの水 位を低減させるなど下流河川の流下 水位を低減、越水箇所を減らしたり 越水氾濫の時間を短縮し、須賀川市 下流部や郡山市の浸水被害を軽減 させたと推定される。

■活用状況の写真

ポンプ車排水(H23, 9)



利用状況(ラジコン飛行場)



利用状況(マレットゴルフ)

- ・占用者(須賀川市)が、浜尾遊水地内でフィールドとする箇所の維持管理(除草等)を実施。
- ・周囲堤の一部が桜づつみとして占用されており、須賀川市が除草委託により除草を実施。

荒川水系荒川 荒川第一調節池 埼玉県

国土交通省 荒川上流河川事務所

【荒川第一調節池の概要】

- ・荒川第一調節池は、約3,900万m3の治水容量を活用して、荒川の洪水調節を行う施設。
- ・荒川第一調節池内の貯水池(彩湖)と下水処理水を高度処理する浄化施設により、最大 302,400m3/日(3.5m3/秒)の水道用水の取水が可能。
- ・大都市圏内に位置し、貯水池周辺の環境整備も進んでいることから、地域のレクリエーション、スポーツ活動の拠点の他、自然環境の観察・学習の場として多くの人に利用されている。

【河川名】

荒川水系荒川

【所在地】

埼玉県さいたま市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市

【平時利用】

散策・休憩、陸上スポーツ、野外活動等

【活用事例(占用)】

公園、グラウンド等の運動施設、災害時の緊急避難場所 【活用頻度・利用者数】

荒川調節池の年間利用者数は約152万人(R1年度)

■施設に関する問合せ 国土交通省荒川上流河川事務所 管理課

TEL 049-246-6364



■施設概要

(完成年度) 平成15年度 (面積) 約5.8km (貯留容量) 約3,900万m3 (平時利用) 公園、グラウンド

■HP

https://www.ktr.mlit.go.jp/ arajo/



■活用状況の写真



彩湖道満グリーンパークの中心広場



彩湖道満グリーンパークのスポーツ施設



自転車での散策

- ・荒川第一調節池は河川区域に指定されているが、調節池内には国有地以外の私有地も含まれている。
- ・埼玉県やさいたま市等が公園やグラウンドとして占用している。
- ・日常の維持管理は、私有地は所有者、占用地は占用者、未占用地は河川管理者である国が実施しており、出水時の施設撤去や出水後の清掃等なども、それぞれの管理者が実施している。

利根川水系渡良瀬川 渡良瀬遊水地 茨城·栃木·群馬·埼玉

国土交诵省 利根川上流河川事務所

【渡良瀬遊水地の概要】

- ・渡良瀬遊水地は、4県にまたがり、利根川の3支川が流入する広大な遊水地で、 第1調節池、第2調節池、第3調節池の3つの調節池がある。
- ・ハートの形をした「渡良瀬貯水池(谷中湖)」は、利根川上流のダム群との連携により 首都圏への生活用水の補給や河川に流れる水量を適切にする働きを有している。 ラムサール条約登録湿地となっており、多様な動植物の生息地となっている。

【河川名】

利根川水系渡良瀬川

【所在地】

茨城県(古河市)、栃木県(栃木市·小山市·野木町)、群馬県(板倉町)、埼玉県(加須市) 【平時利用】

散策、スポーツ、釣り、環境学習、自然観察、湿地 等 【活用事例(占用)】

貯水池、ゴルフ場、運動公園、湿地 等

【活用頻度・利用者数】

年間約47万人(R3年度調査)

■施設に関する問合せ 国土交诵省 利根川上流河川事務所調査課 TEL 0480-52-3958



■施設概要 (完成年度)平成9年度※第3調 節池供用開始 (面積)33km2 (貯留容量)約1億7000m3 (湛水頻度)15回※昭和45年度 から令和3年度までの貯水実績

■HP

https://www.ktr.mlit.go.jp/ton ejo/tonejo_index030.html

(平時利用)散策等

■現況写真



■活用状況の写真



国体会場として使用



利用状況



湿地保全 · 再生状況

- ・遊水地は河川区域となっており、河川管理施設の維持管理は、国土交通省が行っている。
- 公園等の占用地はそれぞれの占用者によって管理されている。
- ・貴重な湿地環境を保全するため、自治体や団体による外来種の除去活動やヨシ焼きが行われている。

鶴見川水系鶴見川 鶴見川多目的遊水地 神奈川県

国土交通省 京浜河川事務所

【鶴見川多目的遊水地の概要】

- ・鶴見川多目的遊水地は、総合治水対策の一環として、国と横浜市が共同で整備した多目的遊水地であり、洪水時には治水施設である遊水地として、平時には新横浜公園として整備され、緑地、スポーツ施設として使用できる水と緑のスポーツオアシスとなっている。特に横浜国際総合競技場(日産スタジアム)は、国際レベルの競技会やコンサートなどのイベントにも対応。テニスコートやドックランなどの施設もあり、市民の憩いの場となっている。
- ・日産スタジアムや横浜市の総合保険医療センターなどの建物は、河川水が遊水地内に流入しても浸水しないピロティ方式(高床式)となっている。

【河川名】

鶴見川水系鶴見川

【所在地】

神奈川県横浜市港北区小机町

【平時利用】

占用者(横浜市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園等の多目的利用(競技場、テニスコート、運動場、野球場、ドックランなど) 【活用頻度・利用者数】

公園利用等···年間約226万人(H30年度)



■施設概要

(完成年度) 平成15年度 (面積) 84ha (貯留容量) 390万m3 (流入実績) 22回(R5.1現在) (平時利用) 都市公園

■HP

https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00119.html

新横浜区園

■現況写真



- ①台風等で川の水位が上がると、一段低い越流堤から遊水 地に水が流れ込む。
- ②遊水地に一時的に貯留する。
- ③川の水が下がった後は、排水門を使って貯留した水を少し



■施設に関する問合せ

国土交通省京浜河川事務所

Tel:045-503-4000(代)

NISSAN FIED COZUCUE

NISSAN

出典:新横浜公園HP

■活用状況の写真



テニスコート



遊具広場



令和元年台風第19号の影響により遊水地内は貯留状態となったが、遊水地をはじめとした総合治水対策や関係者の尽力により、無事にラグビーワールドカップ2019TM「日本対スコットランド戦」を開催することが出来た。

- ・国と横浜市にて、用地取得して整備。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、公園管理者の横浜市が占用。
- ・日常の管理は、横浜市が指定管理制度を利用して実施しており、出水後は指定管理者において公園内 の清掃等が行われており、管理に当たっては、国と横浜市が協定を締結して実施。

木曽川水系長良川 犀川遊水地 岐阜県

木曽川上流河川事務所

【犀川遊水地の概要】

- ・犀川遊水地地区は遊水地周囲堤と支川合流部の排水機場、樋門改築を一体的に 改築する区間である。
- ・犀川遊水地の高水敷を「さい川さくら公園」として整備し、水と緑のマルシェ等のイ ベントを開催している。

【河川名】

木曽川水系長良川

【所在地】

岐阜県瑞穂市宝江から大垣市墨俣町墨俣

【平時利用】

瑞穂市と大垣市が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園、地震時の防災避難地 等

【活用頻度:利用者数】

さい川さくら公園・・・年間約2万人 墨俣一夜城 ••••• 年間約3万人 ■施設に関する問合せ 国土交通省木曽川上流河川事務所 Tel: 058-251-1321(代)

■上面利用に関する問合せ 瑞穂市 都市整備部 都市管理課 TEL 058-327-2102

大垣市 都市計画部 公園みどり課 TEL 0584-47-8419



■施設概要

(完成年度) (面積) (貯留容量)

施工中 100ha(計画) 230万m3(計画)

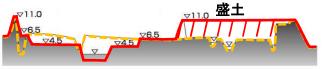
(平時利用) 都市公園

https://www.city.mizuho.lg .jp/12449.htm

■現況写真



■断面図 (A-A断面)



■犀川遊水地周辺 整備イメージパース



■活用状況の写真





写真: 平時の利用地域イベントの開催状況

- ・遊水地内のさい川さくら公園は、瑞穂市と大垣市が占用、維持管理を行っている。
- ・瑞穂市は、令和4年3月には「犀川遊水地グリーンインフラ基本構想」を策定し、来年度以降、かわまち づくり計画の登録に向けた関係者との調整を含め検討を行っていく予定。

庄内川水系庄内川 庄内緑地(小田井遊水地) 愛知県

国土交通省 庄内川河川事務所

【庄内緑地(小田井遊水地)の概要】

- ・庄内緑地は庄内川の小田井遊水地を利用して"水と緑と太陽"をテーマにした名古屋市の総合公園が一体となった施設。
- ・園内には、テニスコート、陸上競技場、ゲートボール場、室内広場や花木園、ピクニック広場、ボート池などの身近なレジャー施設が楽しめる。
- ・地下鉄「庄内緑地公園」駅隣接であり、公園利用者は年間約49万人で賑わっている。

【河川名】

庄内川水系庄内川

【所在地】

愛知県名古屋市西区山田町大字上小田井

【平時利用】

占用者(名古屋市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園、災害時の広域避難場所 等

【活用頻度·利用者数】

公園利用等***年間約49万人

■施設に関する問合せ 国土交通省庄内川河川事務所 Tel:052-914-6711(代)

■上面利用に関する問合せ 庄内緑地グリーンプラザ TEL052-503-1010



■施設概要

(概成年度) (面積) (貯留容量) (平時利用) 都

平成元年 約42ha 約140万m3 都市公園

■HP (指定管理者HP) https://shonai-ryokuchi.jp

■現況写真







■活用状況の写真







写真: 平時の利用、イベントの開催状況

- ・遊水地内の公園範囲の整備については名古屋市が実施。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、公園管理者の名古屋市が占用。
- 日常の維持管理は名古屋市の指定管理者が実施。
- ・河川管理者は洪水時の逆流防止のための小田井水門の操作、周囲堤防の維持管理を実施。

千代川水系袋川 浜坂遊水池 鳥取県

国土交通省 鳥取河川国道事務所

【浜坂遊水池の概要】

- ・浜坂遊水池は、鳥取河川国道事務所の遊水池と鳥取市の都市公園(重箱緑地)が 一体となった施設。
- ・鳥取市街地(中心部)を流れる狐川の洪水を排水機場で排水し、それでも水位上昇 する場合は、サイフォンを用いて、遊水池に導水することで、鳥取市街地の浸水を 軽減します。
- ・鳥取市街地(中心部)に近く、貴重なオープンスペースとなっており、自然豊かな多目的公園としても利用することができます。

【河川名】

千代川水系袋川

【所在地】

鳥取県鳥取市浜坂

【平時利用】

占用者(鳥取市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

多目的公園

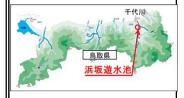
【活用頻度・利用者数】

公園利用等・・・年間7.7万人(令和3年度)

■施設に関する問合せ 国土交通省鳥取河川国道事務所 Tel:0857-22-8435(代)

■上面利用に関する問合せ 鳥取市 都市整備部 都市環境課 公園係 TEL:0857-30-8344

■位置図



■施設概要

(完成年度) 平成23年度

(面積) 14.7ha

(貯留容量) 20万m3

(湛水頻度) 1/10

(平時利用) 都市公園

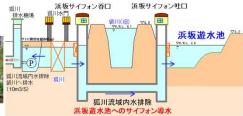
■HP

https://www.city.tottori.lg. jp/www/contents/139883 2558196/index.html

■現況写真



■断面図



■活用状況の写真







写真: 平時の利用状況

- ・遊水池は河川区域に指定されており、公園管理者の鳥取市が占用。
- ・日常の点検・維持管理について堤防やサイフォン等の河川管理施設は国が多目的広場・遊具等の公園施設は鳥取市が実施。
- ・整備および管理にあたっては、費用負担や管理区分を国・市で協定を締結して実施。

松倉川水系鮫川 鮫川遊水地 北海道

【鮫川遊水地の概要】

- ・松倉川水系鮫川は、函館市の中心市街地を貫流する二級河川であり、昭和58年より着手した河川改修事業において、河道改修及び遊水地の整備を行っている。
- ・鮫川遊水地は、松倉川支川鮫川に3箇所の多目的遊水地として整備されたもので、 出水時においては洪水調節機能を有し、平時には公園などとして利用されている。
- ・年間約100万人超の観光客が訪れる歴史的観光地「五稜郭」付近に位置する公園であり、継続的かつ日常的に賑わいを生み出すエリアになっている。

【河川名】

松倉川水系鮫川

【所在地】

函館市本通3丁目

【平時利用】

占用者(函館市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園



■施設概要

(面積)

(完成年度)

平成13年度 A遊水地:0.5ha

C遊水地: 0.8ha

D遊水地: 0.8ha

(貯留容量) A遊水地:0.9万m3

C遊水地:1.3万m3

D遊水地:1.6万m3

(湛水頻度) 1/10 __

(平時利用) 都市公園

■現況写真





■活用状況の写真



遊歩道の整備状況(C遊水地)



遊歩道の整備状況(D遊水地)



親水広場の整備状況(D遊水地)

- ・遊水地は道管理河川区域に指定されており、公園管理者の函館市が占用。
- ・日常の維持管理は函館市が実施。出水後における遊水地内の清掃等は北海道が実施し、安全確認完了後、函館市の日常管理に移行。
- ・整備及び維持管理の費用負担、並びに管理区分について道と市で協定を締結して実施。

沖館川水系沖館川 沖館川多目的遊水地 青森県

【沖館川多目的遊水地の概要】

- ・遊水地内には県運転免許センターや小・中学校が立地し、多目的に利用している。
- ・各施設1階部分はピロティ形式となっており、遊水地が湛水した場合でも床上浸水被害は生じない。
- ・遊水地は中央越流堤により上池と下池に分割、さらに湛水頻度別に3つのゾーンに分かれている。(各ゾーンの利用形態にあわせ、洪水を貯留する遊水区を制限。)

【河川名】

沖館川水系沖館川

【所在地】

青森市大字三内字丸山 地内

【平時利用】

都市施設(県運転免許センター、小中学校)として利用

【活用事例(占用)】

技能コースや駐車場、グラウンド、河川公園 等

【活用頻度・利用者数】

常時利用可能(湛水時を除く。)

■施設に関する問合せ 青森県河川砂防課 河川・海岸グループ TEL:017-734-9665



■施設概要

 (完成年度)
 平成7年度

 (面積)
 26.3ha

 (貯留容量)
 59.0万m3

(湛水頻度) 1/3未満~1/50 (平時利用) 都市施設

■HP 青森県の主な遊水地

https://www.pref.aomori.lg .jp/soshiki/kendo/kasensa

bo/yuyu.html

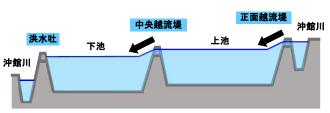
■現況写真



	洪水調節量 (m3/S)	調節池面積 (ha)	貯水容量 (万m3)	湛水頻度
全体	110	26.3	59.0	ı
① 上池低水敷	ı	4.2		1/3未満
② 上池中水敷	ı	6.0	25.0	1/3
③ 上池高水敷	ı	3.5		1/10
④ 下池低水敷	ı	1.3		1/10
⑤ 下池中水敷	-	8.9	34.0	1/30
⑥ 下池高水敷	_	2.4		1/50

洪水はまず上池に貯留し、さらに必要な場合は下池に貯留します。





■活用状況の写真







遊水地内の都市施設

- ・遊水地の整備と合わせて、小中学校と運転免許センターの建設計画が同時期に持ち上がったことから共同で使用することとなり、上面利用に至った。
- ・遊水地内の都市施設管理者とアロケを組み、県が用地取得の上、整備。用地は、負担割合に相当する面積を それぞれ所有。
- ・小・中学校及び県運転免許センターは施設管理者が管理。
- ・河川公園については、青森市と管理協定を締結し日常の管理を委託。

藤原川水系湯本川 湯本川調節池 福島県

【湯本川調節池の概要】

- ・湯本川調節池は、湯本駅付近の市街地の治水対策として整備され、平時は多目的 広場として住民に利用されている。
- ・近隣には「いわき湯本温泉」や「いわき市石炭・化石館ほるる」があり、観光客も散策路として訪れるほか、地域行事「酉小屋」の場としても活用されている。
- ・また、スポーツやレクリエーションが行える総合スポーツ公園の「21世紀の森公園」 や周辺施設でのイベント時には、臨時駐車場として活用されている。

【河川名】

藤原川水系湯本川

【所在地】

福島県いわき市常磐湯本町

【平時利用(占用)】

憩いの場として利用

【活用事例】

地域行事や河川愛護活動の場として利用 消防による訓練活動の場として利用 周辺イベント時の臨時駐車場として利用

■施設に関する問合せいわき建設管理課 TEL 0246-24-6120、6122



■施設概要

(完成年度) 平成20年度 (面積) 3.7ha (貯留容量) 8.1万m3 (湛水頻度) 1/3~1/50

(平時利用) 広場

■HP

■現況写真



~洪水調節のしくみ~

- 1.3年に1度の確率で発生する洪水により調節池に水が流れ込みます
- 2. 大洪水時には、調節池で最大8. 1万m3の洪水を溜めます
- 3. 川の水が調節池に溜まった水より低くなると、調節池の水が排水桶門から流れ出ます
- 1. 洪水時



■活用状況の写真





地下水の湧水を利用した環境保全池(ビオトープ)



調節池内で実施された 地域行事「酉小屋」の様子

- 遊水池の範囲については、福島県が用地取得して整備。
- ・遊水池は河川区域に指定しており、県が広場を所有し、東屋や桜などの植栽を市が所有・占用。
- ・日常の管理は、県・いわき市・NPO湯本川を愛する市民ネットワークの3者で管理協定を結んでおり、 市民ネットワークが主体となって清掃美化や植樹等の保全活動を実施。

那珂川水系 中丸川調節池 茨城県

【中丸川調節池の概要】

- ・中丸川は、流域にひたちなか市の市街地を抱えており、上流域の都市化の影響 により浸水被害が多発しているため、多目的調節池の事業を行っている。
- ・調節池の平場空間を生かし、親水性中央公園としてグラウンドゴルフや花植え 活動などのほか、地域イベントを開催するなど日常的に賑わうエリアとなっている。

【河川名】

那珂川水系中丸川

【所在地】

茨城県ひたちなか市

【平時利用】

占用者(ひたちなか市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園、レクレーション、イベント開催 等

【活用頻度・利用者数】

公園利用者数…年間約9万人

レクレーション等活用実績…年間約60日

■調節池に関する問い合わせ 茨城県土木部河川課 TEL:029-301-4495

■施設に関する問合せ ひたちなか市公園緑地課 TEL:029-273-0111(内線1381~4)



■施設概要

(完成年度) 整備中 (面積) 10.7ha (貯留容量) 27.8万m3

(湛水頻度) 1/5 ~ 1/50 (平時利用) 都市公園

■HP



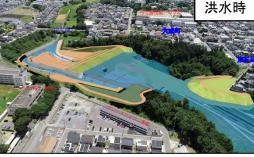


<u>平時</u>

本堤部に設けた放流 施設から放流する。

<u>洪水時</u>

市街地が冠水しないよう、 計画高水位以上になると、 洪水吐施設へ越流させ、 氾濫を防ぐ。



■活用状況の写真







平時の利用、地域イベントの開催状況

- 多目的調整池は、茨城県が主体となって用地取得し、整備。
- ・親水性中央公園は、平成6年に総合公園に指定されており、平成28年度から公園管理者のひたちなか市が占用。
- ・日常の維持管理はひたちなか市のほか、市民協働として民間団体や地元自治会でも実施。

利根川水系綾瀬川 大門(上)調節池 埼玉県

【大門(上)調節池の概要】

- ・さいたま市に位置し、綾瀬川をはさんで両岸に位置する調節池の右岸側。
- ・都市公園である埼玉スタジアム2〇〇2公園と隣接している。Jリーグや日本代表のサッカー試合時には多くの方でにぎわう。
- ・調整池内の広場も常時利用されており、多くのスポーツイベントが開催されている。 【河川名】

利根川水系綾瀬川

【所在地】

埼玉県さいたま市緑区美園2丁目

【平時利用】

占用者(さいたま市)が委託する、一般社団法人美園タウンマネジメントによる広場利用・イベント開催

【活用事例(占用)】

イベント利用等

【活用頻度・利用者数】

常時広場利用+随時イベント開催、R3年度約800人利用

■施設に関する問合せ 埼玉県県土整備部河川環境課 TEL:048-830-5110



■施設概要

(完成年度) 平成29年 (面積) 14.2ha (貯留容量) 56.5万m3 (湛水頻度) 1/10

(海水頻度) 1/10 (平時利用)多目的グラウンド

■HP

綾瀬川・調節池の高質化整備・ 利活用 | プロジェクト | UDCMi | アーバンデザインセンターみ その (misono-tm.or)

■現況写真



出水時の貯留状況



■活用状況の写真







地域イベントや埼玉スタジアム2〇〇2での試合と連携したイベントの開催状況

- ・調節池範囲の整備については、埼玉県(河川管理者)が用地取得、整備。一部公園区域となっているが 一体で利用。
- ・河川区域は埼玉県との協定により、さいたま市が占用、日常利用を実施。
- ・「都市・地域再生等利用区域」に指定し、公民連携で日常的な管理運営を実施。民間主体で一体的に 日常管理を行うスキームの構築を目指す。

利根川水系青毛堀川 花崎多目的遊水地 埼玉県

【花崎多目的遊水地の概要】

- ・加須市に位置し、河川施設としての遊水地と加須はなさき水上公園とが一体となった施設。
- ・遊水地内を越流堤で複数の区域に区分。
- ・加須はなさき水上公園は県内でも少ない県営プールもあり、多くの人で賑わっている。

【河川名】

利根川水系青毛堀川

【所在地】

埼玉県加須市花崎

【平時利用】

占用者(都市公園管理者)による公園利用

【活用事例(占用)】

公園等

【活用頻度·利用者数】

サッカーコート等、隣接公園は年間で約17千人利用(有料施設のみ)

■施設に関する問合せ 埼玉県県土整備部河川環境課 TEL:048-830-5110

花崎多目的遊水地

■施設概要

(完成年度) 平成21年 (面積) 28.5ha (貯留容量) 90.5万m3 (湛水頻度) 1/10 (平時利用)都市公園

■HP

多目的グラウンド | 加須はなさき公園(加須はなさき水上公園) | 公益財団法人埼玉県公園緑地協会 (parks.or.jp)

■現況写真







出水時の貯留状況



■活用状況の写真





日常の利用状況

- ・遊水地範囲の整備については、埼玉県(河川管理者)が用地取得、整備。
- •河川区域は埼玉県(都市公園管理者)が占用、日常利用を実施。
- ・日常の維持管理は占用者が実施。整備にあたっては河川管理者・公園管理者で費用分担を実施。

目黒川 荏原調節池 東京都

【荏原調節池の概要】

- ・荏原調節池は、目黒川中・下流部の治水安全度の早期向上を目的として、中央卸売市場荏原市場跡地を活用して、整備した地下箱式の調節池。
- ・本施設は、4層構造で上層が満杯になると下層へ流入する仕組みとなっており、工事期間中は完成した上層から順次貯水し、早期の浸水被害軽減に効果を発揮するとともに、完成後においても、効率的な施設の活用が可能。
- ・調節池の上部については、都営住宅や品川区の福祉施設などが建築されている。

【河川名】

目黒川

【所在地】

東京都品川区西五反田三丁目

【上部利用】

都営住宅、福祉施設(品川区)などとして利用

■施設に関する問合せ 東京都建設局河川部計画課 中小河川担当 03-5320-5414



調節池イメージ図



■施設概要

(完成年度) 平成14年度

(面積) 1ha (貯留容量) 20万m3

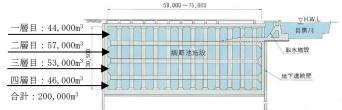
(平時利用) 都営住宅、 福祉施設など

■HP

https://www.kensetsu.m etro.tokyo.lg,jp/content/ 000046135.pdf

■現況写真







一層目内部

■活用状況の写真





取水施設から見た調節池上部の活用状況

- ・調節池の整備については、中央卸売市場荏原市場跡地を有効活用して東京都が整備。
- 調節池上部の区の福祉施設については地上権を設定し建築。
- 調節池の維持管理は東京都が実施。
- ・整備および管理にあたっては、費用負担や管理区分を都区の関係部署で協定を締結して実施。

荒川水系妙正寺川 妙正寺川第一調節池 東京都

【妙正寺川第一調節池の概要】

- 妙正寺川調節池は、神田川の支川である妙正寺川中流部の治水安全度の早期向 上を目的として整備された妙正寺川調節池群の一つ。
- 調節池は堀込式で、取水堰からの流入部には中間貯留部を設け、これが満水になった場合に本体部に貯留する、2段階貯留方式を採用。
- 調節池の上部は妙正寺川公園(中野区・新宿区)及び住宅(UR都市機構)として利用されている、多目的な用途をもった調節池。

【河川名】 妙正寺川

【所在地】

東京都新宿区西落合二丁目、中野区松が丘一丁目

【上部利用】

公園(中野区・新宿区)及び住宅

■施設に関する問合せ 東京都建設局河川部計画課 中小河川担当 03-5320-5414



■施設概要

(完成年度) 昭和61年度 (面積) 11,000㎡ (貯留容量) 3万㎡ (平時利用) 公園、住宅

■HP

https://www.kensetsu.m etro.tokyo.lg,jp/content/ 000046135.pdf

■現況写真



■全体図



■断面図



■活用状況の写真





調節池平時、流入時

- ・東京都、新宿区、中野区及びUR都市機構が協力して用地取得したうえで、調節池とピロティ形式の集合住宅を一体として整備。
- ・整備及び管理は、費用負担や管理区分を都・区・UR都市機構で協定等を締結したうえで実施。
- ・調節池内は、壁打ちテニス場や多目的広場を備えた妙正寺川公園(中野区・新宿区)として利用。

多摩川水系野川 野川第一·第二調節池 東京都

【野川第一・第二調節池の概要】

野川第一・第二調節池は、国分寺崖線と武蔵野公園に挟まれた空間に位置し、野川の治水安全度向上を目的に整備。水位が低下すると排水ゲートから自然排水される 仕組みとなっている。

調節池は、自然再生推進法に基づく自然再生事業の対象地区にもなっている。洪水 調節機能を持ちながら、自然再生事業によって田んぼや池、湿地等を再生し、多様な 生きものの生息・生育空間や、人と自然とがふれあえる場を提供している。

【河川名】 多摩川水系 野川

【所在地】 東京都小金井市東町五丁目地内[第一]、中町一丁目地内[第二]

【平時利用】広場等

【活用事例】自然再生事業地区

【活用頻度・利用者数】 最大200人以上のイベント参加

■施設に関する問合せ 東京都建設局 河川部 計画課 総合治水河川担当 03-5320-5415



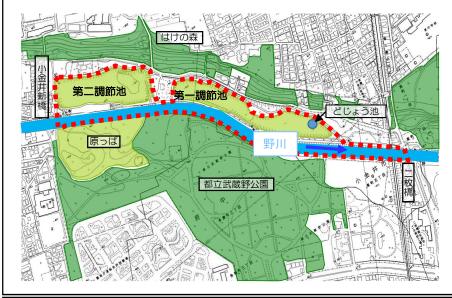
■施設概要

(完成年度)昭和58年度[第一]、 平成元年度[第二] (面積)31,700m2[二池合算] (貯留容量)49,000m3[二池合算]

■HP

https://www.kensetsu.metr o.tokyo.lg.jp/jigyo/river/kan kyo/re_shizen/index.html

■現況写真





自然再生事業区域

■活用状況の写真



市民参加による維持管理



昆虫観察会の様子



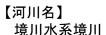
田植えの様子

- 調節池は河川区域に指定されており、東京都が用地取得して整備。
- ・平成18年に地元市民・行政・学識者で構成される「野川第一・第二調節池地区自然再生協議会」設立。
- ・管理運営団体の「野川自然の会」が主体となり、各種イベント(田植え・昆虫観察会等)を開催。
- ・通常時の管理にも携わっており、定期的に特定外来植物(オオカワジシャ・アレチウリ等)の駆除を実施。

境川水系境川 境川遊水地 神奈川県

【境川遊水地の概要】

- ・境川遊水地は、俣野遊水地、下飯田遊水地、今田遊水地の3つの遊水地によって 構成され、合わせて約30haの広さを有し、約90㎡/sの洪水調節を行っている。
- ・遊水地の上部空間は県立公園となっており、境川の自然豊かな水辺空間を活かし様々な生きものが生息できるビオトープを整備し、環境学習などが体験できる場を提供している。また、多目的広場などレクリエーションの場も提供している。



【所在地】

横浜市泉区下飯田町

【平時利用(占用)】

神奈川県立境川遊水地公園として利用

■施設に関する問合せ 神奈川県河港課 045-210-1111



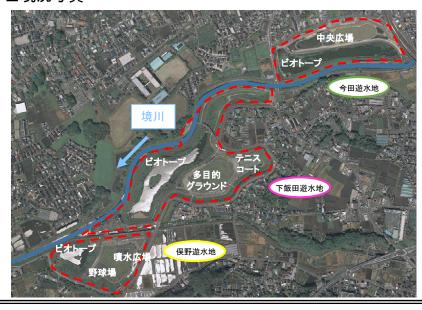
■施設概要

(完成年度) 平成28年度 (面積) 30ha (貯留容量) 104万m3 (平時利用) 県立公園

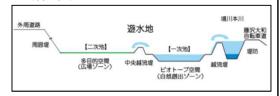
■HP

http://kanagawapark.or,jp/sakaigawa/inde x.html

■現況写真



■断面図



■活用状況の写真



噴水広場



少年野球場



多目的グラウンド

- ・遊水地の整備にあたっては、平成2年度に用地取得に着手し、平成19年度までに用地取得が完了。
- 都市部で不足している緑とオープンスペースを確保することを目的に、上部は県立都市公園として整備。
- ・遊水地は神奈川県が用地取得して整備。
- 日常の維持管理は神奈川県が実施。

信濃川水系大門沢川 新池(大門沢ウォーターフィールド) 長野県

【新池(大門沢ウォーターフィールド)の概要】

- ・大門沢ウォーターフィールドは、長野県の多目的遊水地と松本市の陸上競技練場が一体となった兼用施設。
- ・昭和60年7月県立文化会館の建設場所を松本市内の県営総合運動場に決定したため、運動場の利用者から代替の運動場建設の要望があったため、長野県の遊水地建設とあわせて、陸上競技練習場を松本市が建設。

【河川名】

信濃川水系大門沢川

【所在地】

長野県松本市岡田

【平時利用】

占用者(松本市)が陸上競技練習場として利用

【活用事例(占用)】

多目的遊水地を陸上競技練習場として兼用

【活用頻度:利用者数】

数十人/日程度

■施設に関する問合せ 長野県河川課 026-235-7309



■施設概要

(完成年度) 平成7年度 (面積) 0.9ha (貯留容量) 3.1万m3 (湛水頻度) 1/30 (平時利用) 陸上競技場

■HP

https://www.city.matsumoto.na gano.jp/soshiki/149/5707.html

■現況写真





■活用状況の写真



- ・1周400mトラック、100mレーンが整備されていることに加え、トラック内部の貯留部がトラックより低くなっており、投てき競技の練習にも適した環境となっている。
- ・無料開放しているため、地元高校生の部活動や近隣住民のウォーキング、ランニング等日常的に利用されている。

- ・用地は長野県と松本市でアロケーションして取得。
- 日常管理は松本市で実施し、出水に係る浚渫は長野県で実施。
- 管理については、長野県と松本市で協定を締結して実施。

阿賀野川水系新井郷川 福島潟 新潟県

【福島潟の概要】

- ・福島潟周辺は昔から水害に悩まされ、放水路を整備しており、現在湖岸堤および 水門の整備を進めている。
- ・遊水地(福島潟内)の一部は、新潟市が「水の駅ビュー福島潟」の一体施設として 自然生態学習園を整備。
- ・自然生態学習園では野鳥観察や潟舟を利用した潟めぐり等の自然環境を活かした 体験イベントを開催し、公園利用者数は年間30万人。

【河川名】

福島潟

【所在地】

新潟市北区新鼻

【平時利用】

新潟市(公園管理者)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園、イベント

【活用頻度·利用者数】

公園利用者数・・・年間30万人

■施設に関する問合せ新潟県新潟地域振興局治水課TEL 025-273-3197



■施設概要

(完成年度) 平成9年

(面積) 475ha(公園14.4ha)

(貯留容量) 1,152万m3 (湛水頻度) 1/30

(平時利用)自然公園

■HP

【新潟】福島潟河川改修事業 概要(パンフレット) - 新潟県 ホームページ (niigata.lg.jp)

■現況写真





横断図 湖岸堤 近水地② 下P+2.7 TP+1.5 TP+1.5 不水路

■活用状況の写真



自然文化祭でのイベント状況



菜の花開花時期の利用状況

- ・遊水地内の公園については、公園管理者である新潟市が河川占用し、整備管理を実施。
- ・管理は、河川管理者と公園管理者で、維持管理協定を締結して実施。

巴川水系巴川 麻機遊水地 静岡県

【麻機遊水地の概要】

- ・静岡市の中心市街地から北に約5kmに位置する静岡県が管理する河川管理施設。
- ・静岡市が「あさはた緑地」として、遊水地内に散策路や芝生広場、複合遊具の他に 野鳥の観察小屋や農業体験施設、センターハウス等を整備。
- ・多くの動植物が生息する貴重な湿地として、環境省のウェットランド500に指定され 官民一体となって水辺環境の保全に取り組んでいる。

【河川名】

巴川水系巴川

【所在地】

静岡県静岡市葵区赤松・前林

【平時利用】

占用者(静岡市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園、農業体験 等

【活用頻度:利用者数】

公園利用等・・・年間約3万人(センターハウス利用者)

■施設に関する問合せ (麻機遊水地管理者) 静岡県静岡土木事務所 TEL 054-286-9364 (あさはた緑地管理者) 静岡市緑地政策課 TEL 054-221-1251



■施設概要

(完成年度) 平成21年 (面積) 約22ha (貯留容量) 約38万m3 (湛水頻度) 1/30

(湛水頻度) 1/30 (平時利用) 都市公園

■HP

(あさはた緑地)

https://asahata-gp.com/

■現況写真





サクラタデ

■活用状況の写真







- ・遊水地の整備は静岡県が行い、公園施設等は静岡市が整備。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、公園管理者の静岡市が占用。
- ・あさはた緑地は生息する希少動物等の保全及び環境に配慮した管理運営を行うため、民間のノウハウを活かすべく指定管理者制度を導入している。指定管理者は施設の管理だけでなく、自然環境を活用した環境学習イベントの開催、地域振興のための蓮根掘り体験をはじめとした情報発信等を実施。

淀川水系恩智川 花園多目的遊水地 大阪府

【花園多目的遊水地の概要】

- ・花園多目的遊水地は、大阪府の遊水地と東大阪市の総合公園(花園中央公園) が一体となった施設。
- ・遊水地内に仕切堤を設け、3つのゾーンに区分。公園の利用形態にあわせて、 洪水の規模により段階的に貯留するなどの工夫を実施。
- ・「ラグビーの聖地」と呼ばれる東大阪花園ラグビー場も隣接しており、公園利用者 は年間約49万人。継続的かつ日常的に賑わいを生み出すエリアになっている。

【河川名】

淀川水系恩智川

【所在地】

大阪府東大阪市松原南から吉田

【平時利用】

占用者(東大阪市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

総合公園、地震時の防災避難地 等

【活用頻度:利用者数】

公園利用等・・・年間約49万人

■施設に関する問合せ 大阪府寝屋川水系改修工営所 TEL06-6962-7661



■施設概要

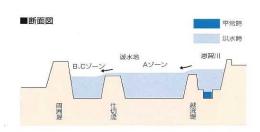
(完成年度) 平成13年度 (面積) 14.1ha (貯留容量) 32万m3 (湛水頻度) 1/1.4~1/30 (平時利用) 都市公園

■HP

https://www.pref.osaka.lg .jp/ne/sougoutisui/hanaz ono.html

■現況写真





洪水はまずAゾーンに貯留し、さらに必要な場合は Bゾーン、Cゾーンに貯留します

	洪水調節量 (m3/S)	調節池面積 (ha)	貯水容量 (万m3)	湛水頻度
全体	50	14.1	32	
Aゾーン(親水広場)		3.4	9.2	1/1.4
Bゾーン(芝生広場)		5.6	13.7	1/10
cゾーン(多目的球技広場)		1.9	3.3	1/30
cゾーン(野球場)		3.2	5.8	1/30

■活用状況の写真







平時の利用、地域イベントの開催状況

- ・遊水地範囲の整備については、大阪府が用地取得して整備。
- ・游水地は河川区域に指定されており、公園管理者の東大阪市が占用。
- ・日常の維持管理は東大阪市が実施し、出水時、堤防や池床部の清掃等は大阪府が実施し、安全確認 完了後、東大阪市の日常管理に移行。
- ・整備および管理にあたっては、費用負担や管理区分を府市で協定を締結して実施。

淀川水系寝屋川 寝屋川治水緑地 大阪府

【寝屋川治水緑地の概要】

- ・寝屋川治水緑地は、大阪府の遊水地と大阪府営公園(深北緑地) が一体となった施設。
- ・遊水地内に仕切堤を設け、3つのゾーンに区分。公園の利用形態にあわせて、 洪水の規模により段階的に貯留するなどの工夫を実施。
- ・寝屋川市と大東市にまたがっており、公園利用者は年間約80万人。

【河川名】

淀川水系寝屋川

【所在地】

大阪府大東市深野北から寝屋川市河北中町

【平時利用】

占用者(大阪府公園管理者)が公園として利用

【活用事例(占用)】

総合公園、地震時の広域避難場所 等

【活用頻度·利用者数】

公園利用等…年間約80万人

■施設に関する問合せ 大阪府寝屋川水系改修工営所 TEL06-6962-7661



■施設概要

(完成年度) 昭和56年度 (面積) 50.3ha (貯留容量) 146万m3 (湛水頻度) 1/3~1/30 (平時利用) 都市公園

■HP

https://www.pref.osaka.lg .jp/ne/sougoutisui/neyag awa.html

■現況写真







■活用状況の写真





- ・遊水地範囲の堤防及び仕切堤の用地については、河川管理者が取得して整備。一部公園負担。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、公園管理者の大阪府が占用。
- ・日常の維持管理は公園管理者が実施し、出水時、堤防点検や清掃等は河川管理者が実施 完了後、公園管理者の日常管理に移行。
- ・整備および管理にあたっては、費用負担や管理区分を協定を締結して実施。

寝屋川水系打上川 打上川治水緑地 大阪府

【打上川治水緑地の概要】

- ・寝屋川下流部の流量負担を軽減するため、寝屋川流域総合治水対策の基幹施設 として平成8年に完成。寝屋川と打上川から遊水地に分水することによって洪水流 量を35m3/sカットする。
- ・寝屋川市内中心部に近いこともあり、平時には寝屋川市が管理する公園として、 近隣住民の憩いと安らぎを与える空間となっており、また、数万人規模の大きな イベントにも活用されている。

【河川名】

寝屋川水系打上川

【所在地】

寝屋川市太秦桜ケ丘

【平時利用】

占用者(寝屋川市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

総合公園

【活用頻度:利用者数】

公園利用等…年間約29万人

■施設に関する問合せ 大阪府枚方土木事務所 TEL072-844-1331



■施設概要

(完成年度) 平成8年度 13.3ha (面積) (貯留容量) 27万m3 (湛水頻度) 1/5 (平時利用)都市公園

■HP

https://www.pref.osaka.lg .jp/hirado/shisakujigyo/u chiage.html







■活用状況の写真



寝屋川まつり





桜のライトアップ

- ・治水緑地の整備については、大阪府が用地取得して整備
- ・緑地部分は河川区域に指定されており、公園管理者の寝屋川市が占用
- ・治水緑地の管理にあたっては、費用負担や管理区分を府市で協定を締結して実施
- ・日常の維持管理は公園管理者の寝屋川市が実施し、一部治水機能を有する施設の管理のうち、除草 業務の一部は、河川管理者の大阪府が公園管理者に委託し実施

大和川水系曽我川 曽我川治水緑地 奈良県

【曽我川治水緑地の概要】

- ・曽我川治水緑地は、奈良県の遊水地と橿原市の都市緑地(曽我川緑地) が一体となった施設。
- ・遊水地内にピロティ形式の体育館を有する。
- ・公園利用者は年間約15万人。継続的かつ日常的に賑わいを生み出すエリアになっている。

【河川名】

大和川水系曽我川

【所在地】

奈良県橿原市曽我町

【平時利用】

占用者(橿原市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

都市緑地、避難所(体育館のみ)

【活用頻度·利用者数】

公園利用等・・・年間約15万人

■施設に関する問合せ 奈良県中和土木事務所 TEL0744-48-3073



■施設概要

(完成年度) 平成14年度 (面積) 7.5ha (貯留容量) 23.2万m3 (湛水頻度) 1/10 (平時利用) 都市緑地

■HP

https://www.city.kashiha ra.nara.jp/article?id=5c35 2474f1a7f00f31b1e2e9

■現況写真









■活用状況の写真



体育館(ピロティ形式)と越流堤



体育館内部



公園風景

- ・遊水地範囲の整備については、奈良県が用地取得(一部橿原市が費用負担)して整備。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、公園管理者の橿原市 が占用。
- ・日常の維持管理は、治水機能の保全部分(池、水路)は県が行いその他は橿原市が実施。
- ・出水時は、堤防や池床部の清掃等は奈良県が実施。
- ・整備および管理にあたっては、費用負担や管理区分を県市で協定を締結して実施。

仁淀川水系日下川 岡花調整池 高知県

■施設に関する問合せ

高知県河川課

TEL:088-823-9838

【岡花調整池(メダカ池)の概要】

- ・日下川は河床勾配が緩く低奥型の地形であることから、通常の河川改修工事のように河道拡幅や築堤により洪水処理を行った場合に広大な用地を必要とするため、 従来、日下川の遊水機能を果たしてきた湿地帯を利用し、岡花調整池が整備された。
- ・たくさんのメダカが泳ぎ、周囲にはトンボをはじめサギやカワセミなどの野鳥が飛び 交う姿や、湿地の珍しい植物も観察できる。

【河川名】

仁淀川水系日下川

【所在地】

高知県高岡郡日高村本郷~岩目地

【平時利用】

ビオトープ(通称:めだか池)

【活用事例】

NPO法人グラウンドワークひだかむらが主催し、以下のイベント等を実施

- ・散策ツアー(わくわく湿地探検隊、湿地帯ぶらり散策)
- ・親子メダカ、野鳥観察会・エコカヌー教室



■施設概要 (完成年度) 平成10年 (面積) 14.1ha (貯留容量) 52万m3 (湛水頻度) およそ1回/年 (平時利用) ビオトープ

■HP

■現況写真





■活用状況の写真







エコカヌー教室

- ・調整池範囲の整備は、高知県が用地取得して整備。
- ・桟橋は県が整備し、日高村に譲渡。
- 遊歩道は地元NPOが整備。
- ・維持管理は、県の「おもてなしの水辺創成事業」を活用し地元住民が実施。
- 管理等の協定は未締結。

坪井川水系坪井川 坪井川遊水地 熊本県

【坪井川遊水地の概要】

- ・坪井川遊水地は、熊本県の遊水地と熊本市に一部占用を許可している都市 公園(坪井川緑地(公園))で構成された施設。
- ・遊水地内に仕切堤を設け、2つのゾーンに区分。最も洪水が貯留しない所に 都市公園を設置。
- ・熊本市内近郊の大規模なオープンスペースであり、公園利用者は年間約51万人。 レジャー(遊具・ボール遊び等)、運動施設の利用、散歩等の目的で小さな子供か らお年寄りまで幅広い世代に利用されている。

【河川名】

坪井川水系坪井川

【所在地】

熊本県熊本市坪井、清水町

【平時利用】

占用者(熊本市)が公園として利用

【活用事例(占用)】

公園 等

【活用頻度:利用者数】

公園利用等・・・年間約51万人(2021年度)

■施設概要 (完成年度) 平成9年度 (面積) 56.6ha

坪井川遊水地

(貯留容量) 108万m3 (湛水頻度) 1/5 ~ 1/30 (平時利用)都市公園

■HP

■施設に関する問合せ 熊本県県央広域本部工務管理課 TFI 096-273-9638

■現況写真





■活用状況の写真







平時の利用状況

- ・遊水地範囲の整備については、熊本県が用地取得して整備。
- ・遊水地は河川区域に指定されており、その一部を公園管理者の熊本市が占用。
- ・日常の維持管理について、占用部分は熊本市が実施し、その他の部分については 熊本県とボランティア協定を締結している地元の団体で管理している。

大淀川水系山内川 山内川調節池 宮崎県

【山内川調節池の概要】

- ・山内川流域は、宮崎市の住居地区として宅地開発が進んでいるため、調節池による洪水調節を取り入れた河川改修計画を策定し、本調節池を整備。
- ・普段は宮崎市の多目的広場(野球場、ラグビー場等)として、広く一般の方に利用されている。

【河川名】

大淀川水系山内川

【所在地】

宮崎県宮崎市大字田吉

【平時利用】

占用者(宮崎市)が多目的広場として利用

【活用事例(占用)】

多目的広場

【活用頻度:利用者数】

年間約3万人

■施設に関する問合せ 宮崎県県土整備部河川課 TEL 0985-26-7184



■施設概要

(完成年度) 昭和63年度 (面積) 4.4ha (貯留容量) 12.6万m3 (湛水頻度) 1/30 (平時利用) 多目的広場

■HP(宮崎市)

http://oyodo-

park.jp/yamauchigawa/

■現況写真





■活用状況の写真



- ・調節池の整備については、宮崎県が用地を取得して整備。
- ・調節池は河川区域に指定されており、多目的広場管理者の宮崎市が占用。
- ・日常の維持管理(除草、清掃等)は宮崎市が実施し、出水時、堤防や池床部の清掃等は宮崎県が実施。
- 管理にあたっては、宮崎県と宮崎市との間で管理協定を締結。

遊水地整備&利活用事例集(令和5年3月)

発行:国土交通省水管理・国土保全局治水課

